

公共交通オープンデータ最前線2024 国土数値情報のご紹介

令和6年3月2日

国土交通省政策統括官付

情報活用推進課 武林雅衛

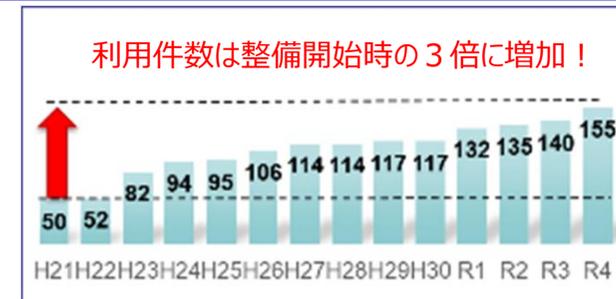
国土交通省では、人口、土地利用、行政区域、公共施設、インフラ、地域の災害リスク情報等の国土、土地・不動産、まちづくり等に関する基礎的な情報をGISデータ化し、国土数値情報として整備・無償提供している

※国土交通省のウェブサイト (<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>) で R5.4月時点約190種類、年間ダウンロード数155万件 (R4実績)

主な整備済み項目 (令和5年6月現在)

国土の骨格	行政区域、道路、河川、鉄道、港湾、空港、バス停など
土地利用関連	土地利用、地価公示、都道府県地価調査など
指定地域	都市地域、人口集中地区、用途地域、過疎地域など
防災関連	洪水浸水想定区域、津波浸水想定、土砂災害警戒区域、避難施設など
公共的施設	市町村役場、公的集会施設、学校、福祉施設、医療機関など
その他	人口推計メッシュ、位置参照情報など

国土数値情報 ダウンロード件数の推移 (単位: 万件)



国土数値情報の活用例

- **NHK等のメディアにおける、各種分析、情報発信**に活用
 - ・土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域
 - NHKニュース・防災アプリで利用
- **民間企業においてもサービスの提供やビジネスに活用**
 - ・用途地域、地価公示、人口集中地区、海岸線
 - 大手ファミリーレストランの出店計画に利用
 - ・浸水想定区域
 - 大手不動産ポータルサイトで物件情報と災害リスク情報を表示
- 公共機関 (国、地方) や、研究機関、住民組織などで活用
 - 再生可能エネルギーのポテンシャル把握 (環境省) や、自治体における都市計画の策定支援など

NHK ニュース・防災アプリ



ファミリーレストラン 出店計画



不動産ポータルサイト



交通

高速道路時系列 (ライン) (ポイント)

重要物流道路 (ライン)

バス停留所 (ポイント)

鉄道 (ライン)

駅別乗降客数 (ライン)

空港 (ポリゴン) (ポイント)

空港間流通量 (ライン)

港湾 (ライン) (ポイント)

港湾間流通量・海上経路 (ライン)

緊急輸送道路 (ライン)

道路密度・道路延長メッシュ

バスルート (ライン)

鉄道時系列 (ライン) (ポイント)

交通流動量 駅別乗降数 (ポリゴン) (ポイント)

空港時系列 (ポリゴン) (ポイント)

ヘリポート (ポイント)

漁港 (ライン) (ポイント)

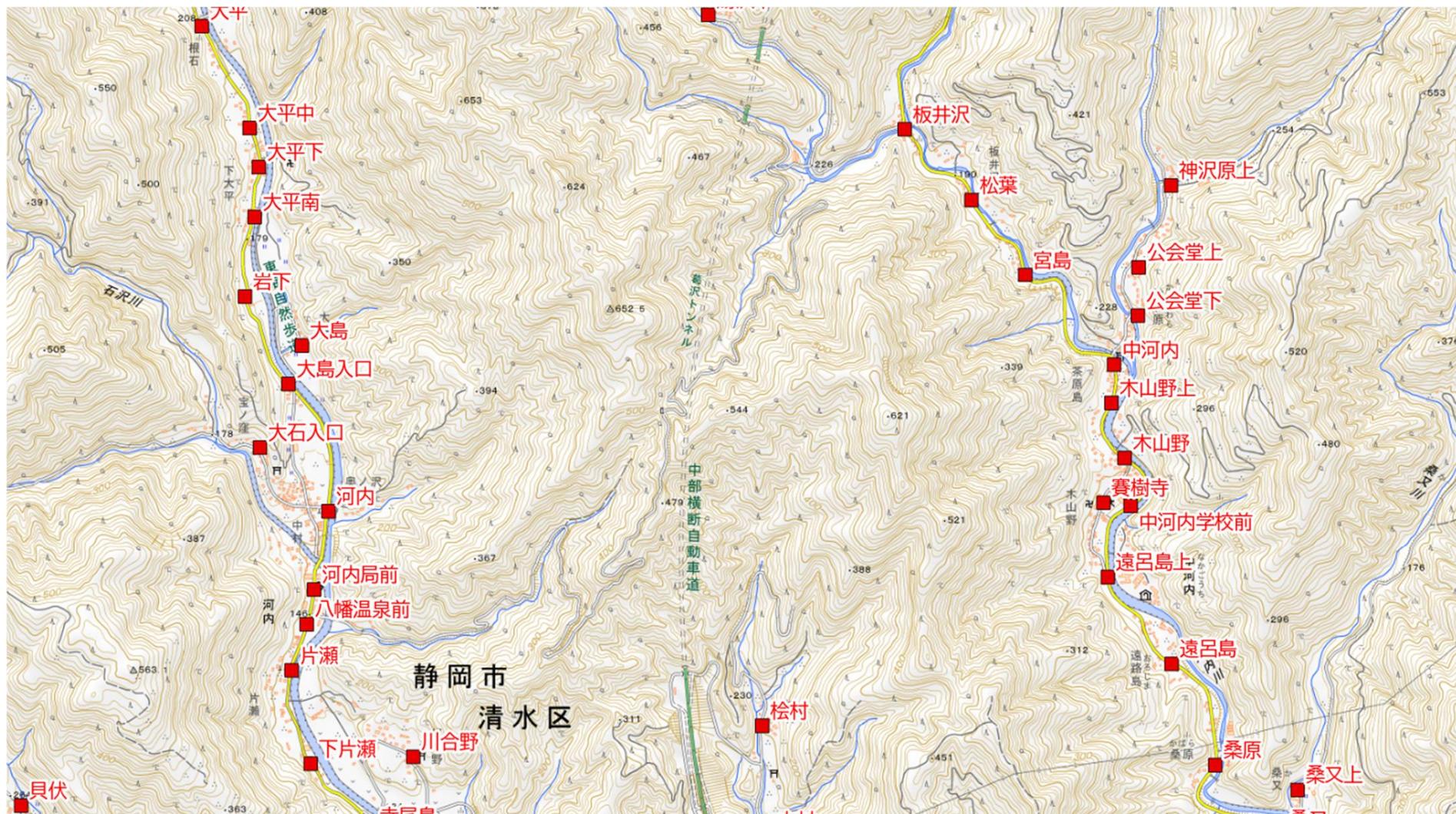
定期旅客航路 (ライン) (ポイント)



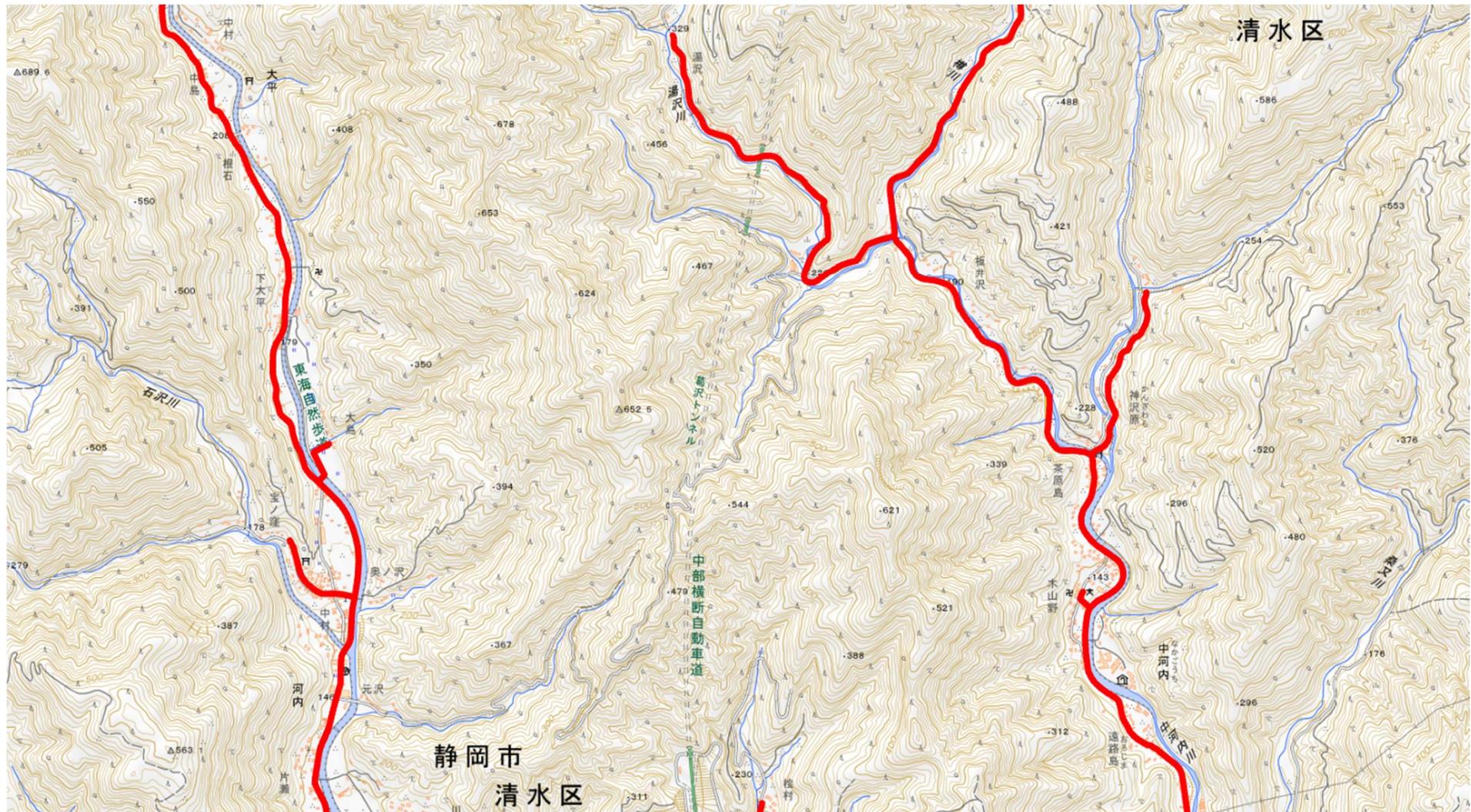
- ・全国の鉄道路線・駅について、線データ化(毎年更新)
- ・属性情報として、事業者、路線名、駅名などを収録
- ・路線ごとにばらしての利用が可能



- ・鉄道路線・駅について、過去からの時系列的な情報をデータ化(毎年更新)
- ・路線は線データ、駅は点データ
- ・過去に存在していた路線や駅も収録
- ・属性情報として、運営会社、路線名、駅名、供用開始年、供用終了年等を収録
- ・過去の任意の時点での路線網を表示することが可能



- ・全国のバス停留所(点)について、2010年、2022年に整備
- ・属性情報として、事業者名、系統名、停留所名等を収録
- ・上下バス停は一つにまとめるなど、厳密な位置ではない
- ・2022年データには高速バス停は未収録(現在整備中)



- ・全国のバス路線(線)について、2011年、2022年に整備
- ・事業者単位で整備
- ・市街地等では運行経路特定に一部推定も入っている
- ・2022年データには高速バス停は未収録(整備予定なし)

- バス事業者リスト(国土交通省鉄道局)をもとに対象事業者を特定
- 各事業者のウェブサイト参照し、路線図等を入手
- 入手できない事業者については、直接情報提供を依頼
- GTFS-JP情報も活用
- 運輸局情報は収集していない



地理院地図、前回(H22)に整備したデータを
ベースに修正

- 利用にあたっては、GISソフトが必要（データ形式はシェープ、GML、GeoJSONの3種類）
- 他の施設、区域等のGISデータと重ね合わせることで、様々な使い方が可能
- 駅別乗降客数など、属性情報だけ知りたい場合にはエクセルで取り出すことも可能
- データによっては利用制限がある（各々のダウンロードページに記載）ので、**要注意**

※鉄道時系列データは原典資料として民間情報を利用しているため、商用利用は不可、など）

- 高速バス停留所については、令和5年度事業として現在整備中であり、今年6月頃に公開予定
- 今後は、更新頻度を変えることもあり得る

ご利用はこちら

<https://nlftp.mlit.go.jp/>

xアカウントを開設しました

アカウント名:【公式】国土交通省政策統括官
付情報活用推進課

ユーザー名:@GIS_MLIT